

単元名

地域とつながる「大野を知ろう」 ～大野の魅力を発見しよう～

【関連のある SDGs の目標】



【本質的な問い】（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

◎ふるさと大野の魅力とはなんだろう。

【単元を貫く問い】（単元を通して考え深めていく「問い」）

●ふるさと大野を発展させていくため、大野の魅力を伝えるにはどうしたらいいか

【単元の目標】

・ふるさと大野を発展させていくために大野の魅力を調査し、自然、歴史、文化・伝統、産業、それぞれの分野での魅力をまとめ表現しようとする態度を育てる。

【連携諸機関・人物】

- ・浜毛保漁協・大野鉱山
- ・大野図書館・大野西国街道
- ・倉本しゃもじ工場
- ・大頭神社・山根対敵堂
- ・廿日市市役所大野支所
- ・etto・はつはな果蜂園
- ・高津堂・まちの駅 ADOA 大野

活動の概要

大野を発展させていくために大野の魅力についてインターネットやフィールドワークなどで調査し、自然、歴史、文化・伝統、産業、それぞれの分野での大野の魅力をまとめ、グループごとに調べた内容をスライドにまとめ、発信した。

★アピールポイント★

- ・活動の特色 ・授業展開や学習形態、教材等の工夫 ・地域人材、財産等の活用
- ・児童生徒の心を揺さぶる仕掛け ・他教科等との関連 ・ICTの効果的な活用 等

- ・導入では、生徒自身が知っている大野について考えさせ、意見を出させる中で調べる文や内容を整理し、興味関心がある項目を主体的に調べられるようにグループごとに課題を設定した。
- ・事前調査の段階では、タブレットを活用し、インターネット上の情報について収集し、フィールドワークの際に疑問点、詳しく知りたいことなどをまとめることができた。
- ・グループごとにフィールドワークを実施し、訪問先でのインタビューや取材を通じて情報を収集し、魅力を伝えるための課題等についても気づくことができた。
- ・まとめの発表に向けて、タブレットを活用しスライドの共同編集を行った。課題の整理や魅力の提案についてなど、グループで協議しまとめる際に役立った。
- ・まとめの発表は、学年で行った。スライドを使い、全体にわかりやすく報告を行うことができた。学校代表に選ばれたグループは、オンラインによる報告会にも参加した。



児童生徒の姿 (○)、児童生徒による振り返り (◇)

- 地域の自然、歴史、文化・伝統、産業について他者にわかりやすく伝えるために、主体的に情報を集め自分の住む地域の素晴らしさを知ること誇りに思う気持ちを深めていた。
- グループで発表準備をすることで、情報整理や、まとめ方の工夫をすることができていた。
- ◇フィールドワークの中で地域の人にインタビューすることで、大野の魅力について再発見できた。再発見したふるさとの魅力を他の人に伝えたいと思うようになった。
- ◇自分たちが調べたことをどうやったら他の人に伝えることができるのか試行錯誤しながら伝わりやすいスライドをつくることができた。